(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2008-291540
(P2008-291540A)
(43)公開日　平成20年12月4日(2008.12.4)

(51)Int.Cl.		F I			テーマコード（参考）
E03C 1/28 (2006.01)		E03C	1/28	B	2D061
		E03C	1/28	A	

審査請求 未請求　請求項の数 5　ＯＬ　（全 11 頁）

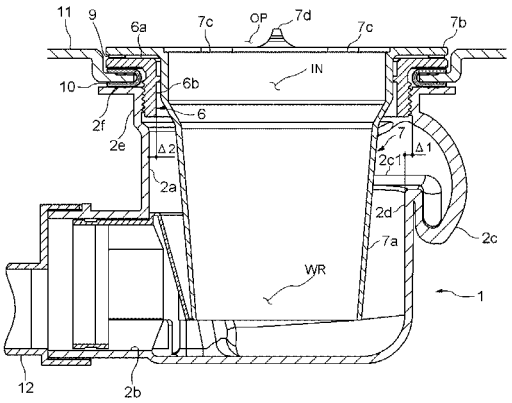
(21)出願番号　特願2007-139004 (P2007-139004)
(22)出願日　平成19年5月25日 (2007.5.25)

(71)出願人　000010087
ＴＯＴＯ株式会社
福岡県北九州市小倉北区中島２丁目１番１号
(72)発明者　原田　亮一
千葉県佐倉市大作２丁目５番地１　ＴＯＴＯバスクリエイト株式会社内
(72)発明者　小森　恭二
千葉県佐倉市大作２丁目５番地１　ＴＯＴＯバスクリエイト株式会社内

Ｆターム(参考)　2D061 DA01　DD08　DE01

(54)【発明の名称】排水トラップ

(57)【要約】
【課題】封水高さを確保しつつ、排水性能を高めた排水トラップを提供する。
【解決手段】浴室ユニットの床排水口に取付けられ、略碗状に成形され、内部に溜水室が形成されたトラップ本体と、上下が解放された筒状部を有し、該筒状部下部が上記溜水室内に配置されて封水を形成する封水筒と、上記溜水室の上方側と連通するように形成され、上記トラップ本体内に流入した水を外部へ導出する排水管が接続されるトラップ排水部とを備え、上記トラップ排水部は、上記排水管内の排水流路の水流方向と平行な上記トラップ本体側面に接する接線の、内側及び外側双方に亘って形成された。
【選択図】　図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
浴室ユニットの床排水口に取付けられ、略碗状に成形され、内部に溜水室が形成されたトラップ本体と、
上下が解放された筒状部を有し、該筒状部下部が上記溜水室内に配置されて封水を形成する封水筒と、
上記溜水室の上方側と連通するように形成され、上記トラップ本体内に流入した水を外部へ導出する排水管が接続されるトラップ排水部と、
を備え、
上記トラップ排水部は、上記排水管内の排水流路の水流方向と平行な上記トラップ本体側面に接する接線の、内側及び外側双方に亘って形成されたことを特徴とする排水トラップ。
【請求項２】
前記トラップ排水部の前記トラップ本体側面に形成されたトラップ排水口は、横方向に長く形成されたことを特徴とする請求項１記載の排水トラップ。
【請求項３】
前記排水トラップ本体側面は、前記排水口を上下に挟むトラップ本体上側及びトラップ本体下側が略面一に形成されたことを特徴とする請求項１及び２のいずれかに記載の排水トラップ。
【請求項４】
前記トラップ排水口下方の前記トラップ本体側面は、溜水室の封水高さを形成する隔壁として、上記トラップ排水部の略下半まで立ち上げられたことを特徴とする請求項３記載の排水トラップ。
【請求項５】
前記トラップ排水部は、前記排水管内の排水流路の水流方向と平行な前記トラップ本体側面に接する接線の内側且つ上記接線の接点より上流側において、その底面が前記隔壁天端より低くない位置に形成されたことを特徴とする請求項４記載の排水トラップ。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、浴室ユニットの排水トラップに関する。
【背景技術】
【０００２】
浴室ユニットの排水トラップのひとつに、洗い場の洗面器載置部や浴槽からの器具排水を、例えば図７に示すように、トラップ側面２ａからトラップ内へ導く方式の排水トラップ１００がある。
【０００３】
同図に示す排水トラップは、器具排水が流入する流入管１２がトラップ側面２ａに設けられた開口２ｂに接続される部分に、流入する水流を略下方に折曲すべく上方に閉じた整流部材８を、排水トラップ１００Ａの溜水室ＷＲ内へ突出して設け、且つ、この整流部材８が、折曲された水流を解放する整流部材縁部８ａを溜水室内の溜水に浸漬させる構造（例えば、特許文献１参照。）を採用している。
【０００４】
この排水トラップ１００Ａでは、流入管１２に連通する側の封水深さはトラップの溜水面レベルＬと整流部材縁部８ａとの鉛直距離ｌとなり、流入管の位置には依存しないので、トラップの高さが増さない位置に流入管１２すなわち器具排水管を設けることができる。
【０００５】
また、器具からの排水は、流入管１２から開口２ｂを介し整流部材８によって略下方に屈曲され、整流部材縁部８ａで解放され、この縁部８ａと水底部との隙間から溜水室ＷＲ

内へと流出するに至るまで、その各流路面積は流入管１２の流路面積以上であって、器具の排水時間が長引くことはない。このように、器具からの排水が流入する側では、封水高さを低く抑えるとともに、器具排水の流路面積が確保されている。

【０００６】

これにより、排水トラップの高さを小さく抑えることができるので、排水トラップが設置される床パン下面と建築スラブとのクリアランスをより小さくすることができる。そうすると、その分だけ床パンすなわち浴室ユニット床面の設置高さも低くすることが可能となる。その結果、浴室ユニット床面と脱衣所との段差も小さく抑えられ、使い勝手も良くなる。

【０００７】

他方、整流部材８を、排水トラップ１００Ａの溜水室ＷＲ内へ突出して設けたことから、トラップ本体２の下腹部を広げる必要が生じたので、溜水室ＷＲの高さを形成するための隔壁５を上に行くに従って狭窄させて排水管１３への出口の径を大きくし、溜水室ＷＲ出口において十分な流路を確保している。

【０００８】

この排水トラップ１００は、トラップ本体２と、このトラップ本体を洗い場の床パンに取設するための取付フランジ６と、封水を形成するための封水筒７とをその主要な構成要素とする。

【０００９】

これらの中、トラップ本体２は、合成樹脂等で成型され、上部が開口する略碗状のトラップ主要部３、このトラップ主要部と同材で成型された蓋部３、及び溜水室ＷＲの高さを形成するための隔壁５との３部材を溶着させて一体に形成される。

【００１０】

ところで、排水トラップには、上述した封水保持能力や、排水時間を長引かせない機能の他、自浄作用（トラップ内に沈積するゴミなどを押し流す作用）が求められる。

【００１１】

斯かる自浄作用を高めた排水トラップとして、図８に示すものが開示されている（例えば、特許文献２参照。）。この排水トラップは、排水トラップ本体１０１からの排水を排出口に排水するための排水配管１０３が、排水配管１０３の中心軸ＣＬ２が排水トラップ本体１０１の水平面における中心軸ＣＬ１に対して４５度から９０度の範囲の角度α１を有して、排水トラップ本体１０１の円周方向に沿って排水トラップ本体１０１に連設されており、そして、浴槽（図示せず）からの排水を排水トラップ本体１０１に導くための排水導管１０４が、排水導管１０４の中心軸ＣＬ３が排水トラップ本体１０１の水平面における中心軸ＣＬ１に対して４５度から９０度の範囲の角度α２を有して、排水トラップ本体１０１の円周方向に沿って排水トラップ本体１０１に連設されている。さらに、排水配管１０３及び排水導管１０４それぞれの中心軸ＣＬ２，ＣＬ３が、排水トラップ本体１０１の水平面における中心軸ＣＬ１に対して逆の角度で連設されている。

【００１２】

このような排水配管１０３及び排水導管１０４の連設構造により、排水導管１０４を通じて浴槽から流れ込んできた排水は、排水導管１０４の排水流入口１４１から排水トラップ本体１０１内へと流れ込む。そして、この排水トラップ本体１０１に流れ込んできた排水は、排水トラップ本体１０１の排水流出口１１１から排水配管１０３へ流れて、最終的に排出口へと排水される。この一連の排水の流れにおいて、排水は、円周方向に流れるため、流れがスムーズであり、流速が増大し、そして、汚れやぬめり等も排水の流れとともに流出し、排水経路中における汚れやぬめり等の堆積を抑制することができる。

【００１３】

【特許文献１】特開２００１－１４０３１８号公報

【特許文献２】特開２００５－１８００７７号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【００１４】
しかしながら、図８に示した例では、明示されていないが、封水高さの問題が生じる。すなわち、封水高さが排水配管１０３下端と同じレベル又はそれ以下に設定されているならば、排水導管１０４上端との距離が小さいため、封水の蒸発や排水管内の圧力変動などに対応する十分な封水高さを確保できない。
【００１５】
封水高さを確保するために、排水導管１０４のレベルを下げるには、排水トラップそのものの高さを大きくしなければならず、これは排水トラップの背そのものを小さくしようとする上述した需要に反する。反対に、封水高さを排水配管１０３下端よりも上に上げれば、これが排水配管１０３への流路に対する障害となって、流れがスムーズでなくなり、流速も減少して、自浄作用を高めるという趣旨を没却することになる。
【００１６】
本発明は、上述した事情を考慮してなされたもので、封水高さを確保しつつ、排水性能を高めた排水トラップを提供することを目的とするものである。
【課題を解決するための手段】
【００１７】
本発明に係る排水トラップは、上述した課題を解決するために、請求項１に記載したように、浴室ユニットの床排水口に取付けられ、略碗状に成形され、内部に溜水室が形成されたトラップ本体と、上下が解放された筒状部を有し、該筒状部下部が上記溜水室内に配置されて封水を形成する封水筒と、上記溜水室の上方側と連通するように形成され、上記トラップ本体内に流入した水を外部へ導出する排水管が接続されるトラップ排水部とを備え、上記トラップ排水部は、上記排水管内の排水流路の水流方向と平行な上記トラップ本体側面に接する接線の、内側及び外側双方に亘って形成されたものである。
【００１８】
前記排水部の前記トラップ本体側面に形成されたトラップ排水口は、好適には、請求項２に記載したように、横方向に長く形成される。
【００１９】
また、前記排水トラップ本体側面は、好適には、請求項３に記載したように、前記排水口を上下に挟むトラップ本体上側及びトラップ本体下側が略面一に形成された構成とすることができる。
【００２０】
そして、前記排水口下方の前記トラップ本体側面は、好適には、請求項４に記載したように、溜水室の封水高さを形成する隔壁として、上記排水部の略下半まで立ち上げられたものとしてもよい。
【００２１】
さらに、前記排水部は、好適には、請求項５に記載したように、前記排水管内の排水流路の水流方向と平行な前記トラップ本体側面に接する接線の内側且つ上記接線の接点より上流側において、その底面が前記隔壁天端より低くない位置に形成されることが望ましい。
【発明の効果】
【００２２】
本発明に係る排水トラップによれば、封水高さを確保しつつ、排水性能を高めることができる。
【発明を実施するための最良の形態】
【００２３】
本発明に係る排水トラップの実施の形態について、添付図面を参照して説明する。図１は、本実施形態に係る排水トラップ１の縦断面図である。
【００２４】
排水トラップ１は、上部が開口する略碗状のトラップ本体２と、このトラップ本体２を洗い場の床パン１１に取設するための取付フランジ６と、封水を形成するための封水筒７

とをその主要な構成要素とする。

【００２５】

トラップ本体２は、合成樹脂等で成型され、下部側中央に所定高さの溜水室ＷＲが形成されるとともに、この溜水室ＷＲの下部に連通するように、浴槽からの排水を集める流入管１２が接続される浴槽排水取水部２ｂが形成されている。浴槽排水取水部２ｂには、流入する水流を略下方に折曲すべく上方に閉じた整流部材８が、溜水室ＷＲ内へ突出して設けられる。

【００２６】

また、トラップ本体２には、溜水室ＷＲの上方側と連通するように、トラップ排水部２ｃが形成され、排水トラップ１の排水を外部へ導出する排水管１３が接続される。

【００２７】

トラップ排水部２ｃに開口されたトラップ排水口ＤＩ下方のトラップ本体側面２ａは、トラップ排水部２ｃの略下半まで立ち上げられ、溜水室ＷＲの封水高さを形成する隔壁２ｄを構成する。

【００２８】

トラップ排水部２ｃは、図２に示すように、浴槽排水取水部２ｂが、トラップ本体の中心Ｏを指向して取設されるのとは異なり、トラップ本体の中心Ｏに対して一定の角度（本実施形態では９０度）をなして取設される。そして、トラップ排水部２ｃは、接続される排水管１３内の排水流路の水流方向の軸（または円筒状の排水管における中村軸）ＷＦＡと平行なトラップ本体側面２ａ（隔壁２ｄ）に接する接線ＴＬの、内側及び外側双方に亘って形成される。すなわち、トラップ排水部２ｃの外側の側面（トラップ本体の中心Ｏから遠い方の側面）は、トラップ本体２の側面２ａから膨出して形成される一方、トラップ排水部２ｃの内側の側面（トラップ本体の中心Ｏに近い方の側面）は、接線ＴＬより完全に外側へ出ることはない。この点、図８に示した排水トラップの排水配管１０３が、排水トラップ本体１０１の円周方向に沿って排水トラップ本体１０１に連設される、すなわち、排水配管１０３の外側の側面が接線ＴＬ上にあるのと異なる。

【００２９】

また、図３～図５に示すように、排水管１３内の排水流路の水流方向の軸ＷＦＡと平行なトラップ本体側面２ａに接する接線ＴＬの内側且つ接線ＴＬの接点より上流側（排水管１３から、接線ＴＬがトラップ本体側面２ａと接する接点ＴＰより遠い側。図２参照）において、トラップ排水部２ｃは、その底面２ｃ１が前記隔壁２ｄ天端より低くない位置に形成される。

【００３０】

トラップ本体２上部の開口は、洗い場部からの排水が流入する取水口ＩＮとなっている。

【００３１】

トラップ本体２の円筒状の上部内面には、側面２ａ内面に雌ねじが螺刻された雌ねじ部２ｅが設けられる。この雌ねじ部２ｅは、その下の側面２ａより拡開して形成される。そして、雌ねじ部２ｅ上端からは、外方略水平に延出する鍔部２ｆが形成されている。

【００３２】

取付フランジ６は、外周にトラップ本体２の雌ねじと螺合する雄ねじが螺刻された短い円筒状の雄ねじ部６ａと、この雄ねじ部６ａ上端から外方略水平に延出するフランジ部６ｂを有する。

【００３３】

封水筒７は、上下に開口した筒状の筒状部７ａと、この筒状部７ａ上端から略水平外方に拡開された環状部７ｂとを備える。この環状部７ｂと取付フランジ６のフランジ部６ｂとの間には、環状のパッキン９が挟着される。

【００３４】

環状部７ｂ上面には、図６に示すように、環状部７ｂ外端から内端に連通する溝７ｃが形成されるとともに、指で抓むことができる突起７ｄが立設されている。

【００３５】
この排水トラップ１は、床パン１１に設けられた床開口ＯＰ下にトラップ本体２の鍔部２ｆを当接配置し、この床開口ＯＰ上には取付フランジ６を配置して、取付フランジ６の雄ねじとトラップ本体２の雌ねじとを螺合させて、Ｕパッキン１０を介して床開口ＯＰ周りの床パン１１を挟持することにより取設される。
【００３６】
その後、封水筒７が、その筒状部７ａを取水口ＩＮに挿入され、取付フランジ６のフランジ部６ｂ上に、環状部７ｂを掛止させて、着脱自在に取設される。封水筒取付時には、筒状部７ａの下端が溜水室ＷＲ内に配置され、封水を形成する。
【００３７】
本実施の形態に係る排水トラップ１は上記のように構成されており、以下このように構成されたトラップ排水部２ｃの作用について説明する。
【００３８】
トラップ排水部２ｃ下方のトラップ本体側面２ａは、隔壁２ｄとして上記排水部の略下半まで立ち上げられているので、浴槽排水取水部２ｂ天端から隔壁２ｄ天端までの垂直距離をかせぐことができ、封水高さが確保される。
【００３９】
また、トラップ排水口ＤＩを上下に挟むトラップ本体２の上側の側面２ａと同下側の側面２ａとの出入りの差Δ１が、略面一となる程小さい。言い換えれば、トラップ本体２の成形時に一緒に隔壁２ｄも形成することから、図７に示した例のように、隔壁２ｄ上端の内径が、隔壁２ｄ下端の内径より小さくなることはない。これにより、トラップ本体側面２ａの形状がシンプルになり、隔壁２ｄ下部等の清掃も容易となる。
【００４０】
さらに、隔壁２ｄは、トラップ本体２の側面２ａの延長として略垂直に立設されるので、隔壁２ｄをトラップ本体２の別体として成型する必要がなく、トラップ本体２と一体に成型することができる。例えば図７に示した従来の排水トラップでは、トラップ本体２を構成するトラップ主要部、蓋部４及び隔壁５の各パーツを成型した後、それぞれのパーツを溶着させる等の２次加工が必要となって、工程及びコストの面で改善の余地があるという問題があった。また、溶着部分からの漏水の虞があり、製品の信頼性の問題もあった。しかしながら、本発明に係る排水トラップによれば、トラップ本体製作時に必要な溶着等の２次加工が少なくなり、ひいては工程の短縮及びコストの低減が可能となる。溶着箇所の減少は、製品の信頼性向上にも繋がる。
【００４１】
トラップ排水部２ｃは、接続される排水管１３内の排水流路の水流方向の軸ＷＦＡと平行な上記トラップ本体側面に接する接線ＴＬの、内側及び外側双方に亘って形成されるので、図３にも示すように、トラップ排水口ＤＩは、横方向に長く形成される。これにより、隔壁２ｄが存在するために高さ方向では排水管１３の直径よりも小さくされたトラップ排水口ＤＩも、横方向では排水管１３の直径よりも大きくすることができるので、トラップ排水口ＤＩの開口面積も大きくなり、排水トラップ１の排水性能を向上させることができる。
【００４２】
次に、排水管１３内の排水流路の水流方向の軸ＷＦＡと平行なトラップ本体側面２ａに接する接線ＴＬの内側且つ接線ＴＬの接点より上流側において、トラップ排水部２ｃの底面２ｃ１が前記隔壁天端より低くない位置に形成される理由を述べる。
【００４３】
トラップ本体２の成型に際しては、その内側金型として、トラップ本体２の主部の成型に使用されトラップ本体２成型後上方に引き抜かれるものと、浴槽排水取水部２ｂの成型に使用されトラップ本体２成型後横方向に引き抜かれるものと、トラップ排水部２ｃの成型に使用されトラップ本体２成型後横方向に引き抜かれるものとがある。
【００４４】

この内、トラップ排水部２ｃ用の金型は、その上流側先端のトラップ本体側面２ａと接続する部分が、鉤爪状に湾曲する。トラップ排水口ＤＩが開口されたトラップ排水部２ｃの略上半分の部分については、障害となるものがないので、この鉤爪状の部分を引き抜くことに問題はない。しかしながら、隔壁２ｄが存在するトラップ排水部２ｃの略下半分に部分については、この隔壁２ｄが障害となって、この鉤爪状の部分を引き抜くことはできない。そこで、トラップ排水部２ｃの上流側においては、隔壁２ｄよりも下に金型が要らないように、その底面２ｃ１を隔壁２ｄ天端より低くない位置に形成することとした。

【００４５】

このように構成することにより、排水管１３内の排水流路の水流方向と平行なトラップ本体側面２ａに接する接線ＴＬの内側且つ接線ＴＬの接点より上流側までトラップ排水口ＤＩを形成することが可能となるため、排水性能を高めることが可能となる。つまり、トラップ排水部２ｃのトラップ排水口ＤＩ底部を形成する隔壁２ｄの天端は、全体的に同一高さに形成されている。そして、上述したトラップ排水部２ｃにおいて、排水管１３内の排水流路の水流方向と平行なトラップ本体側面２ａに接する接線ＴＬの内側且つ接線ＴＬの接点より上流側のトラップ排水部２ｃのみは、その底面２ｃ１は隔壁２ｄの天端と同一面となるが、その他のトラップ排水部２ｃの底面（トラップ排水部内部の底面）は隔壁２ｄの天端より低い位置に配置されるよう形成される。これにより、トラップ排水部内部の高さが確保されるので、より排水性能を高めることが可能となる。

【００４６】

また、本実施形態に係るトラップ本体２は、従来のトラップ本体が有する蓋部を有しない。このことから、排水トラップ１清掃時において、目視できない蓋部裏面を清掃する必要もなくなり、清掃性も向上する。

【００４７】

また、トラップ本体２の雌ねじ部２ｅは、トラップ本体２の雌ねじ部２ｅ下方の側面２ａより拡開して形成されているので、取付フランジ６が取り付けられると、図１に示したように、取付フランジ６の雄ねじ部６ａの内面と、トラップ本体２の雌ねじ部２ｅ下方の側面２ａとの出入りの差Δ２が略面一となる程小さいので、この部分の段差も小さくなって、より清掃がし易くなっている。

【００４８】

さらに、上述したように、隔壁２ｄを別体で成型する必要もないので、本実施形態に係るトラップ本体２は、一部材で構成でき、その結果、溶着等の２次加工も不要となり、排水トラップ製作工程が短縮され、また製作コストも低廉に抑えることが可能となる。

【００４９】

他方、本実施形態に係る取付フランジ６は、従来の取付フランジが有する封水筒掛止部を有しないので、形状がシンプルになって、取付フランジ６自体の成型及び清掃が容易となる。また、封水筒掛止部を有しない分取水口ＩＮの有効開口が大きくなるので、手や清掃用具をトラップ内に挿入し易くなるとともに、トラップ本体２の側面２ａまでの距離も短くなるので、この点においても清掃性が向上する。

【００５０】

さらに、本実施形態に係る封水筒７は、環状部７ｂ上面に指で抓むことができる突起７ｄが立設されているので、清掃時等封水筒７の取り外しが必要な際には、この突起７ｃを指で抓んで封水筒７を持ち上げる、或いは吊り下げることができ、取り扱いが容易となる。

【００５１】

このように封水筒７を指で掴むための突起７ｄの少なくとも一部が取水口ＩＮより外方側且つ上方側の環状部７ｂ上面に形成されているので、洗い場からの排水が触れにくく、従来のような取水口ＩＮの内方側且つ下方側に形成されていたのに比べて汚れの付着が少なく、使用者が封水筒７を掴むことの不快感を低減させることが可能となる。特に従来の突起の位置は、洗い場排水が溜水室へ排水されるための通り道に配置されていたため、汚れの付着は多く、洗い場からの石鹸カスや皮脂等の有機物汚れによって封水筒と取付フラ

ンジが固着して着脱しにくくなるというおそれもあったが、本願発明によれば、斯かるおそれも低減する。

【００５２】

ところで、床パン１１の床開口ＯＰは、元来、水勾配を取るために、取付フランジ６を取り付けた場合に、フランジ部６ｂ天端が、床開口ＯＰ周りの床パン１１より低くなるように、一段下げて形成されている（図７参照）。

【００５３】

しかしながら、本実施形態に係る排水トラップ１では、フランジ部６ｂ天端上に封水筒７の環状部７ｂが掛止されるので、この環状部７ｂ天端は床開口ＯＰ周りの床パン１１より若干高くなって環状部７ｂの外周床パン１１上に水が溜まるおそれがある。

【００５４】

そこで、環状部７ｂ外端から内端に連通する溝７ｃを形成することにより、床パン１１から流入する排水をこの溝７ｃ外端から内端へ向かって導き、取水口ＩＮへと流れ込むようにしたものである。

【００５５】

以上に説明した実施態様は説明のためのものであり、本発明の範囲を制限するものではない。したがって、当業者であればこれらの各要素もしくは全要素をこれと均等なものによって置換した実施態様を採用することが可能であるが、これらの実施態様も本発明の範囲に含まれる。

【００５６】

例えば、本実施形態においては、封水筒７の環状部７ｂ上面に４本の溝７ｃが形成されているが、溝７ｃの本数はこれに限らず、１本でも２本でもよい。同じく、封水筒７の環状部７ｂ上面に４本の突起７ｄが立設されているが、突起７ｄの個数もこれに限らず、１個でも２個でもよい。

【図面の簡単な説明】

【００５７】

【図１】本発明に係る排水トラップの一実施形態を示す縦断面図。
【図２】本実施形態に係る排水トラップのトラップ本体の平面図
【図３】本実施形態に係る排水トラップの排水口を望む縦断面図。
【図４】本実施形態に係る排水トラップの排水部側面を望む側面図。
【図５】本実施形態に係る排水トラップの排水部上流側からの側面図。
【図６】本実施形態に係る排水トラップの外観斜視図。
【図７】従来の排水トラップの一例を示す縦断面図。
【図８】従来の排水トラップの他の例を示す図で、（Ａ）は平面図、（Ｂ）は側面図。

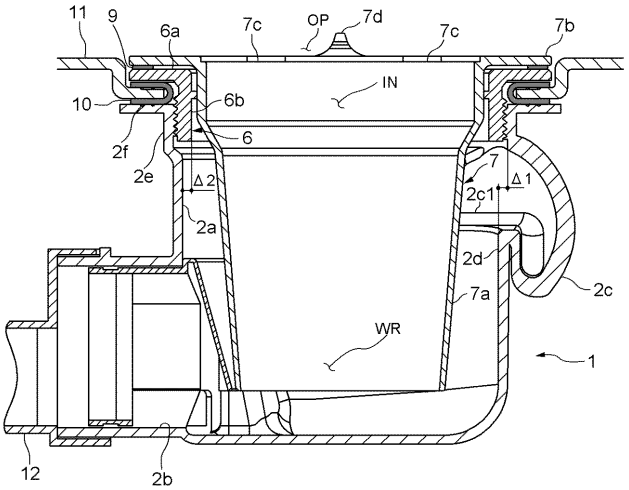
【符号の説明】

【００５８】

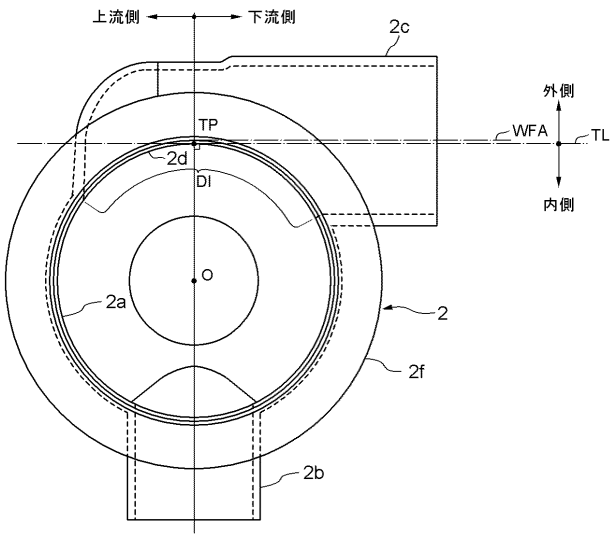
１　排水トラップ
２　トラップ本体
２ａ　側面
２ｂ　浴槽排水取水部
２ｃ　トラップ排水部
２ｃ１　底面
２ｄ　隔壁
２ｅ　雌ねじ部
２ｆ　鍔部
６　取付フランジ
６ａ　雄ねじ部
６ｂ　フランジ部
７　封水筒
７ａ　筒状部

７ｂ　環状部
７ｃ　溝
７ｄ　突起
８　整流部材
９　パッキン
１０　Ｕパッキン
１１　床パン
１２　流入管
１３　排水管
ＤＩ　トラップ排水口
ＩＮ　取水口
Ｏ　トラップ本体中心
ＯＰ　床開口
ＴＬ　接線
ＴＰ　接点
ＷＦＡ　水流方向の軸
ＷＲ　溜水室

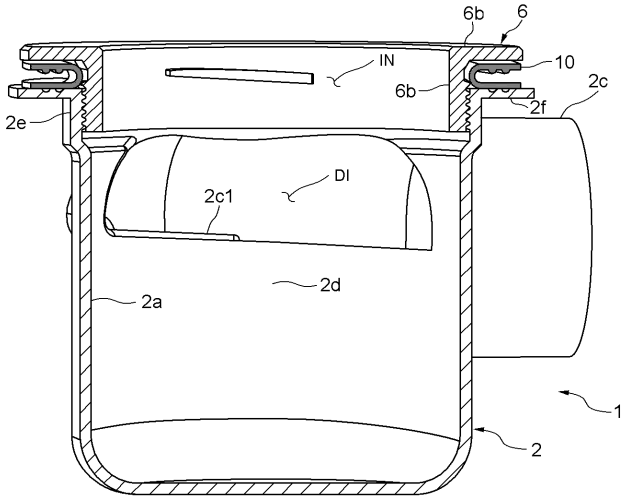
【図１】



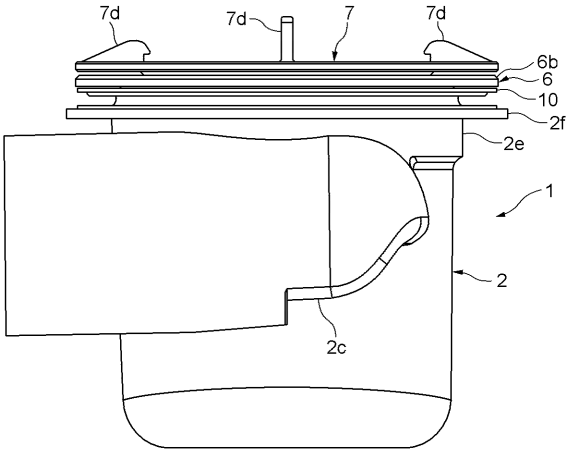
【図２】



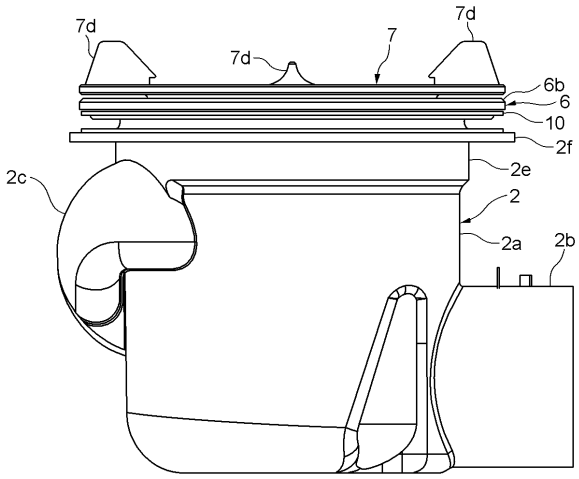
【図３】


6b
6
IN
10
6b
2f
2c
2e
DI
2c1
2d
2a
1
2

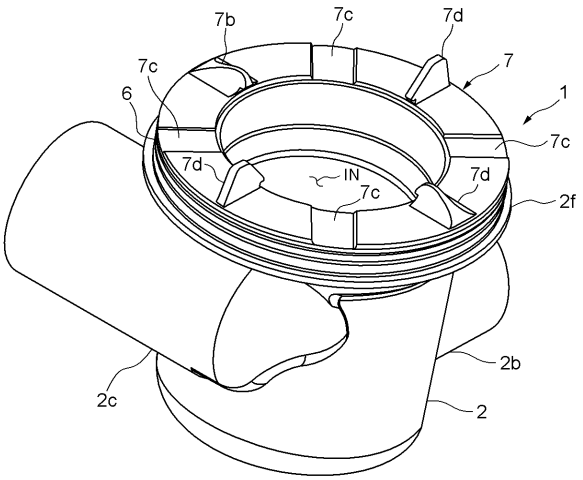
【図４】


7d
7d
7
7d
6b
6
10
2f
2e
1
2
2c

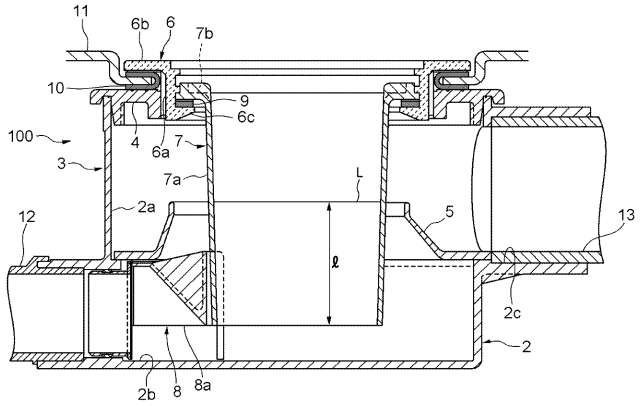
【図５】


7d
7d
7
7d
6b
6
10
2f
2c
2e
2
2a
2b

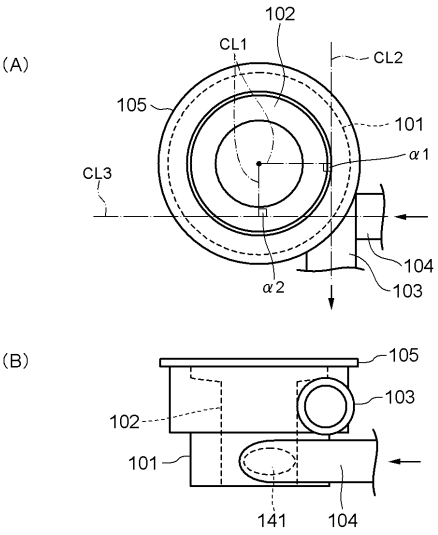
【図６】


7b
7c
7d
7c
7
6
1
7c
7d
IN
7c
7d
2f
2b
2c
2

【図７】


11
6b
6
7b
10
9
6c
100
4
6a
7
3
7a
L
2a
5
12
13
ℓ
2c
2
2b
8
8a

【図８】


(A)
102
CL1
CL2
105
101
α1
CL3
104
α2
103
(B)
105
103
102
101
141
104